

## ◎本日のひとこと

発想と諦めない心が成功を導く…商品のヒットは偶然には起きません。意図して働きかけて生み出すのです。

## ◎注目企業！注目事業！注目商品！

月日・情報媒体	内容・概略	一筆啓上
6月24日 日本経済新聞	<b>ヒットのクスリ チョコ菓子「ブラックサンダー」秘話</b> ・販売休止から一転長寿 今春ファミマとコラボ ・「信者」が導いた年2億本 販路拡大に大学生協 ・人気を決定づけたのは体操の内村航平氏	ヒット商品の運命を辿る商品です。火付けが内村氏とは幸運！ “チョコだけに ちょこっと売れて火がついて”

## ◎諸事推考！

## ◇6月24日 日本経済新聞 「ファンド、出口戦略に狂い」

- ・株式公開・事業会社への売却、難しく 同業者へ苦肉の転売は過去5年の平均9倍
- ・ファンド会社が抱える国内企業が増加
- ・M&A逆風、金利高で危機の芽 購入時の借り入れの多さも原因とみられる

利潤を追求する民間のファンドには冬の時代の到来のようです。先行きは予想しづらく、見通しは立ちません。新型コロナが世界経済を襲い、ウクライナ侵攻が世界経済を窮地に立たせ、流通の停滞が社会生活から体力を奪っています。解決策は問題と隣り合っていますが、解決策を実行する方法が見つかっていません。世界をまとめるリーダーも組織も現れていません。ファンドによるM&Aは平和な時代の象徴です。いつ戻るのか？ いつか戻るのか？

“謳歌する M&Aの土台(エムエーのした) 平和なり”

## ◇6月24日 日本経済新聞 「ウクライナ危機」アリソン米ハーバード大教授に聞く

- ・ロシア、窮すれば核使用も プーチンは獲得した都市を失えば破壊をエスカレートさせる
- ・戦火が下火になるのは例えばロシアがドンバス地方を手に入れたとき
- ・台湾問題、中国も慎重に ロシアへの経済制裁にも警戒感を抱く
- ・目先の最大のリスクは台湾や米国が中国を刺激し、北京が耐えられずに反撃するケースだ

狂った思考が起こす侵略戦争に正義はありません。狂った思考を治める方法もありません。歴史が物語る戦争を起こしたものの末路は大概哀れというほかありませんが、当の本人は何ら問題意識を持たず強固に正当化を主張するばかりです。現在もプーチンと賛同する一派は狂ったままの行動を継続しています。誰がその行動を止めるのか？ 今は正気になったロシア人に期待するしかないのかもしれない。

“同胞の 狂いを諫め 地に帰れ” “どの子にも 弾より笑顔 与えたい” “この大地 昔所有は 人でなく”

発行者：【中央総合事務所グループ】

株式会社中央経営コンサルタンツ&中央会・経営教育センター

文責：庄子 興

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目 28 番 8 号 ラ・ベルティ新宿 9 階

☎：03-5155-2858 ファクシ：03-3207-3655 HP：https://central-mc.jp